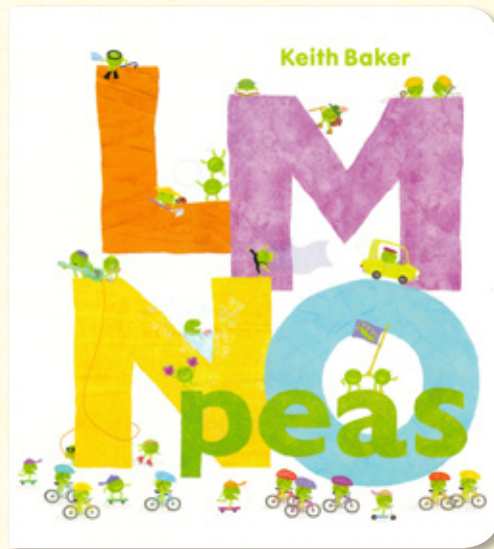


子どものための B O O K G U I D E
— 11 —



LMNO Peas

著者: Keith Baker
出版社: Simon & Schuster

これはA Classic Board Bookシリーズのうちの1冊。Board Bookというのは厚紙の本で、多くは幼児向けの絵本です。そう、これは幼い子にAで始まる単語、Bで始まる単語、Cで始まる単語……を楽しく教える絵本。それも、「～する人」の英単語が並びます。

ただ、Aからいきなり、We're acrobats, artists, and astronauts in space. とハイレベルな単語。Nのnursesはいいとして、Oのoutlawsはいささか物騒。Qのquilters やquarterbacksは中高生にも難解。Zのzoologistsにいたっては大学生でも無理。

もちろん、英語圏の幼児がみんなこんな言葉を覚えさせられるわけではなくて、これは単なる遊び。わざと、こむずかしい単語も混ぜてあるわけです。こましかった幼児がかっこつけてWe're yogis in a pose. とか言っていると、きっと受けますよね。そのうえ、このWe'reのWeが誰かという、タイトルにあるPeas(エンドウ豆)。

いってみれば100%受けねらいの絵本なのですが、ちょっとだけお勉強をするなら、「～する人」の語尾でしょう。builder / bather / biker / climber / camper など、BとCだけで「動詞+er」がこんなに出てきます。あと、数は減りますが、inventor / investigator / sailor など「動詞+or」も出てきます。

最後に一つ、Wのところの、We're weavers, wishers, and X-ray doctors, too. のweaverは「編む人、織る人」、X-ray doctorは「X線技師」でいいのですが、問題は真ん中のwisher、「祈る人」です。絵の中の4人(4個)のエンドウ豆は井戸の周りで何をしているのでしょうか。実は、ヨーロッパには「願かけ井戸(wishing well)」の伝説があって、ここにコインを投げ込むと願いがかなうといわれているのです。この絵、よく見ると、金貨を投げ込んでいるのがわかります。

さて、語彙のレベルは高いけれど、読んで楽しい、絵が楽しい、少しお勉強になるBoard Book、最後のページがまた楽しい。WHO ARE YOU?

金原瑞人
かねはら みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど600点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『Here We Go!』(光村図書)の編集委員を務める。